24 営農技術対策(号外－1)

強風・降雪に伴う農作業について

平成２４年4月　4日
北 海 道 農 政 部

札幌管区気象台によると、北海道地方は低気圧の接近に伴い、4月4日から5日明け方にかけ日本海側を中心に暴風雪となる見込みです。

このため、今後の気象情報に十分注意し、次のとおり強風・降雪への適切な対応に努めてください。

１．強風・降雪への対応

① ビニールやハウスバンド等施設各部の損傷・ゆるみなどの状態を総点検し、必要に応じて速やかに補修する。

② ハウス周辺に堆積雪があると屋根からの落雪を妨げ、施設の側壁に圧力を加えることになるので除雪しておく。

③ 湿った雪は、ビニールがたるみやすくなるなど、滑落が困難となりやすいことから、積もってきたら速やかに雪降ろしを行う。
特に、格納庫等施設の屋根の雪降ろしは、複数で作業を行うなど事故の防止に最善の注意を払う。

④ ハウスの気密性を高め、加温施設がある場合は可能な範囲で室温を高め、二重ハウスの場合は日中内張を開放し、外張り天張面を温め落雪を促す。
ただし、ハウス内に育苗中の作物や栽培作物がある場合は、作物の適温管理範囲内とする。

⑤ 停電に備えて自家発電機や簡易暖房機、暖房用ろうそく等を確保して、緊急時に保温暖房できる体制づくりに努める。

⑥ 風雪が強い場合はむやみに施設等に近づかず、安全の確保を心がける。

２．その後の処置

① 降雪後は、ビニールやハウスバンド等施設各部の損傷・ゆるみなどの状態を総点検し、必要に応じて速やかに補修する。

② 吹き溜まりやハウス片側落雪があると、負荷がアンバランスとなりハウスがゆがむことがあるのでなるべく速やかに除雪する。

③ 融雪水がハウス内に入り込まないように、ハウス周辺の排水経路の確保を行い排水に努める。

お問い合わせ先：食の安全推進局技術普及課（電話011-231-4111 内線27-823）